

循環器内科



循環器科内科部長
八木 哲夫

診療内容と実績

病院移転に伴い設備も拡充し、循環器疾患全般の積極的な診療を行っています。不整脈分野が専門領域ですが、虚血性心疾患、心不全などの重症例に対する診療も重視しています。

- 不整脈診療：カテーテルアブレーション約250例，ペースメーカー約100例
- 狭心症，心筋梗塞：トレッドミル，負荷心筋シンチグラフィ，冠動脈造影(CAG)約500例，冠動脈形成術(PCI)約210例
- 循環器救急医療：大動脈バルーンパンピング(IABP)約20例

研究活動としては、臨床心臓電気生理学的検査やカテーテルアブレーションによる臨床研究のほか、心臓超音波やホルター心電図などによる非侵襲的な分野の臨床研究も行っています。

プログラムの目的と特徴

当科では循環器医として必須な冠動脈造影，冠動脈形成術(PCI)の手技の習得，急性心不全の管理のほか，カテーテルアブレーション，ペースメーカーなども豊富な症例のもと研修ができます。虚血性心疾患，心不全の診療のほか，不整脈系疾患の診療が多く経験できることが大きな特徴です。また，当科は不整脈診療だけでなく，虚血性心疾患の治療にも非常に力を入れています。

研修内容と到達目標

■短期研修

- ・心臓超音波，中心静脈の確保，循環器救急疾患への対処，重症心不全の管理
- ・認定内科医取得の準備
- ・院内誌への投稿
- ・循環器学会東北地方会や内科学会東北地方会での発表

■1年研修

- ・冠動脈造影や臨床心臓電気生理学的検査，経食道超音波などの循環器疾患に対する基本的な検査手技の習得
- ・認定内科医取得の準備
- ・全国学会での発表，地方学会のシンポジスト，全国学会誌への投稿

■2年研修

- ・カテーテルアブレーション，冠動脈形成術，ペースメーカー植え込みなどの循環器治療手技の習得
- ・循環器専門医の取得準備，インターベンション専門医の取得準備，不整脈専門医の取得準備
- ・全国学会，地方会での発表，地方学会のシンポジスト，海外学会での発表，全国学会誌への投稿



カテーテル室